

# SONIFEX

## DHY-04シリーズ テレホンハイブリッド



### 取り扱い説明書



## ■安全上のご注意

取扱説明書には、お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。以下の注意事項をよくお読みの上、正しくお使いください。

注意事項は危険や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った扱いをすると生じることが想定される内容を次の定義のように「警告」「注意」の二つに区分しています。

 <b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。
 <b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

### 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容です。

- 必ず本体に記載のある定格電圧の範囲内でご使用ください。異なる電源で使用すると火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コードは本機専用です。ほかの製品に使用するとコードの破損や火災、感電の原因になります。
- 使用する電源電圧に応じて適切な電源コードをご使用ください。火災や感電の原因になります。付属の電源ケーブルを他の製品に使用しないでください。
- 電源コードの上に重い物をのせたり、熱器具に近づけたり、無理に引っ張ったりしないでください。コードが破損して火災や感電の原因になります。電源コードが傷んだら(断線や芯線の露出など)、直ちに使用を中止し販売店に交換をご依頼ください。
- 水が入った容器や金属片などを、機器の上に置かないでください。こぼれたり、中に入ったりすると、火災や感電の原因となります。
- 万一、落としたり筐体を破損した場合は、直ちに使用を中止し、修理を依頼してください。そのまま使用すると、火災の原因となります。
- 雷が鳴り出したら、金属部分や電源プラグに触れないでください。感電の恐れがあります。
- 煙がでる、異臭がする、水や異物が入った、破損した等の異常がある時は、ただちに電源プラグをコンセントから抜き、修理を依頼してください。異常状態のまま使用すると、火災や感電の原因となります。
- 分解や改造は行わないでください。お客様が保守できる部品は、内部にはありません。分解や改造は保証期間内でも保証の対象外となるばかりでなく、火災や感電、故障の原因となります。
- 本製品は事業用電気工作物のため、一般用電気工作物に接続して用いることは出来ません。

### 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容です。

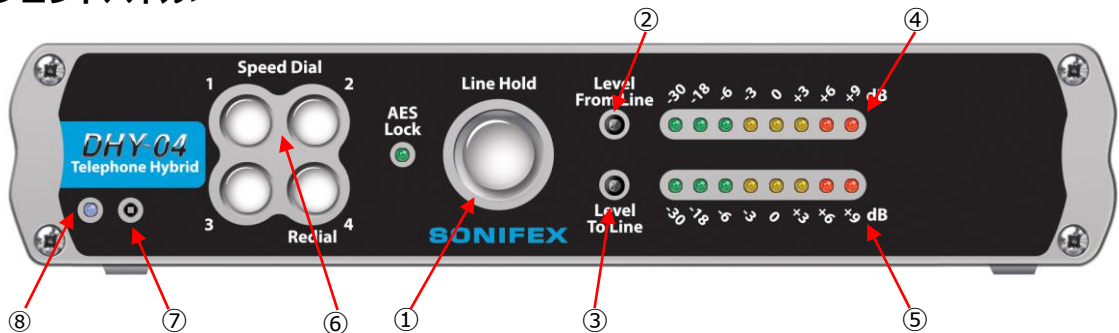
- 不安定な場所に設置しないでください。落下によるけがの原因となります。
- 以下のような場所に設置しないでください。
  - ・ 直射日光の当たる場所
  - ・ 湿気の多い場所
  - ・ 温度の特に高い場所、または低い場所
  - ・ ほこりの多い場所
  - ・ 振動の多い場所
- 機器をラックに設置する場合は、必ず専用のラックマウント金具(オプション)を使用し、重量を支えるために全てのネジをしっかり固定してください。落下すると、けがや器物を破損する原因となります。
- 配線は、電源コードを抜いてから説明書に従って正しく行ってください。電源コードを差し込んだまま配線すると、感電する恐れがあります。また、誤配線によるショート等は火災の原因となります。
- 機器の移動は、電源プラグをコンセントから抜き、他の機器との接続を全て外してから行ってください。
- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源プラグを抜くときに、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき火災や感電の原因となります。

## <ご使用上の注意>

※本機はアナログ回線専用です。ビジネスフォン等を絶対に接続しないでください。

※本機は電気通信事業法に基づき、回路を閉じた状態での直流抵抗値が290Ωとなります。  
電話回線によっては使用できない場合があります。

## <フロントパネル>



### ① LINE CONNECT SW

#### a. 電話を受ける時

電話を着信するとLINE CONNECT SWが点滅(赤色)します。

ONにするとSWが点灯し、ON LINE状態になり本機から受話音声が出力されます。

同時に本機の入力信号が相手側に送られます。

電話機のフックを上げた状態でLINE CONNECT SWをOFFにすると

本機の出力が切れ、電話機で相手と通話が可能になります。

再度 LINE CONNECT SWを押すとON LINEになります。

ON LINE中にフックを下げた状態でLINE CONNECT SWを押すと電話が切れます。

LINE CONNECT SW点灯時はフックを下げても電話は切れません。

\* リアパネルのディップSW4をONにすると自動着信モードになります。

着信するとLINE CONNECT SW点滅後、自動的にSWが点灯しON LINEになります。

#### b. 電話を掛ける時

電話のフックを上げてダイヤルし、相手と繋がると電話で通話ができます。

LINE CONNECT SWを押すと本機から受話音声が出力され、

電話機での通話はできなくなります。

再度 LINE CONNECT SWを押すと電話機で通話が可能になります。

注意：ON LINE中に相手が電話を切った場合はLINE CONNECT SWはOFFになりません。

リアパネルのディップSW3をONにすると自動切断モードになり、

相手の電話が切れると自動的にLINE CONNECT SWがOFFになります。

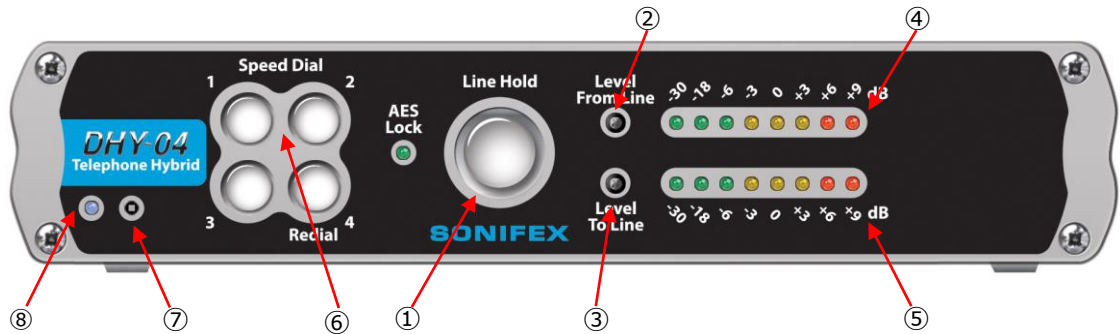
② LEVEL FROM LINE : 受話レベル切替 -6dB, 0dB, +6dB at 0dBu

③ LEVEL TO LINE : 送話レベル切替 -6dB, 0dB, +6dB at 0dBu

④ 受話レベルメーター

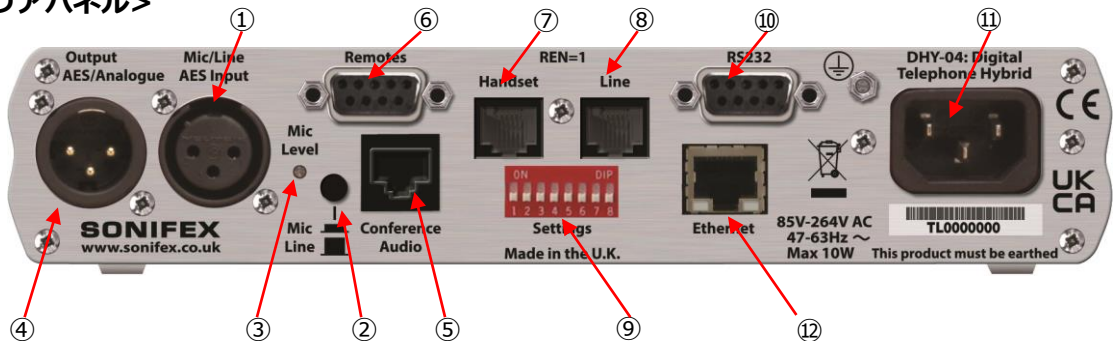
⑤ 送話レベルメーター

## <フロントパネル>



- ⑥ Speed Dial ボタン  
日本国内では使用出来ません。
- ⑦ Reset SW : 本機がリブートします。(ユニット設定は保持されます)
- ⑧ Power LED

## <リアパネル>



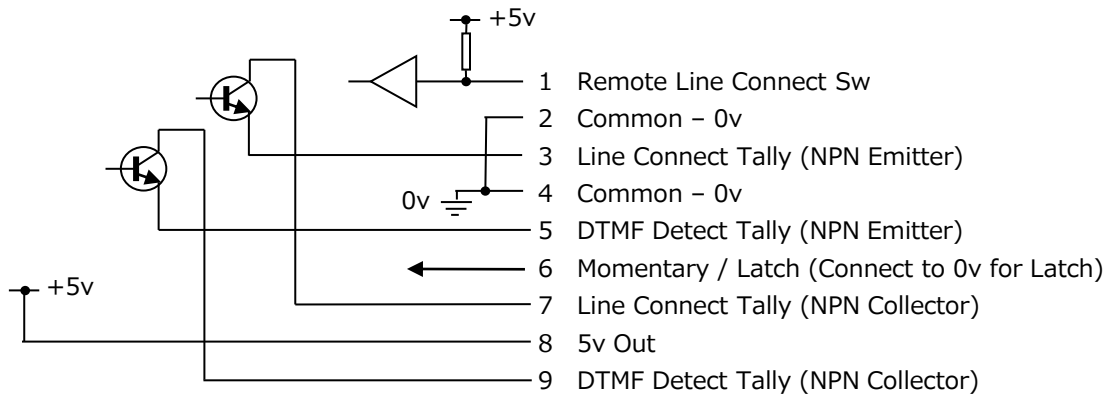
- ① MIC/LINE INPUT : 入力 XLR-3-31(1:アース 2:ホット 3:コールド)  
マイクロホン及びアナログ/デジタルラインレベル音声の入力が可能です。  
\*アナログ入力 : 600Ω適応 (0dBu)  
\*アナログ/デジタルは自動認識します。
- ② MIC/LINE : 入力ソースのMIC/LINEの切替ができます。
- ③ MIC LEVEL : MIC入力レベルの調整が可能です。-70dB ~ -52dB
- ④ OUTPUT : XLR-3-32 (1 : アース 2 : ホット 3 : コールド)  
\*アナログ出力 : 600Ω適応 (0dBu)  
\*入力ソースに対応してアナログ/デジタルが切替わります。
- ⑤ CONFERENCE AUDIO : 2台のDHY-04をリンクしてミックス出力が作れます。
- ⑥ REMOTES : LINE CONNECT SWとCONNECT Tallyの外部出力です。(4ページ参照)
- ⑦ HANDSET : 電話機を接続します。
- ⑧ LINE : 電話回線を接続します。
- ⑨ SETTINGS : 自動着信・自動切断モード等の設定を行います。(5ページ参照)
- ⑩ RS232 : シリアル制御で使用します。
- ⑪ AC : 85~264V / 47~62Hz, 10W
- ⑫ Ethernet : メーカー設定用のため使用不可

## <REMOTES コネクター ピンアサイン>

D-Sub 9way

\* コネクターのロックはインチ仕様です。

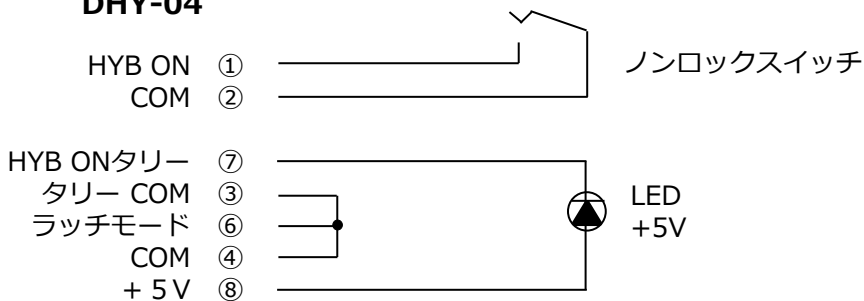
No	信号名	No	信号名
1	Remote Line Connect Sw	6	Momentary / Latch
2	Common - 0v	7	Line Connect Tally (Collector)
3	Line Connect Tally ( Emitter)	8	5v Out
4	Common - 0v	9	DTMF Detect Tally (Collector)
5	DTMF Detect Tally (Emitter)		



## <制御接続例>

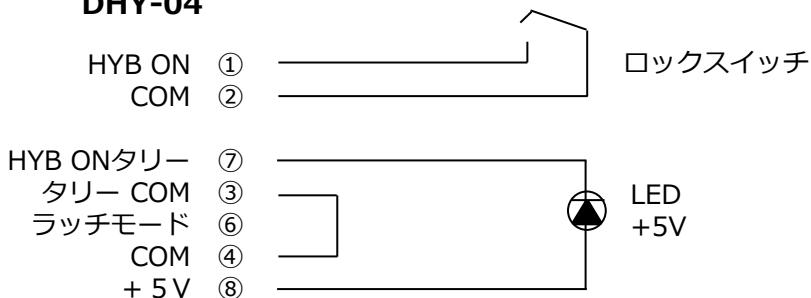
- ノンロックスイッチ、ワンパルスでリモートする場合

### DHY-04

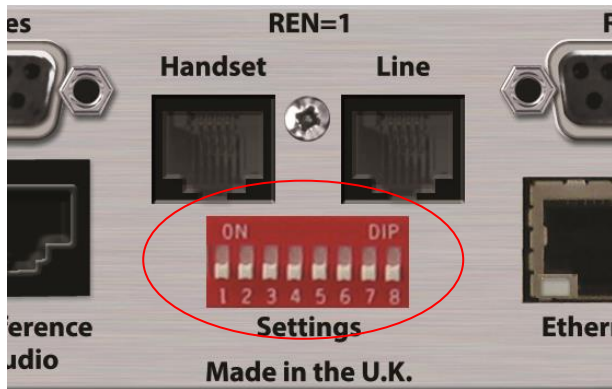


- ロックスイッチ、ステータスでリモートする場合

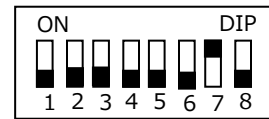
### DHY-04



## <ディップSWの機能>



ディップSWのデフォルト設定  
(メーカー・デフォルト)



\* ON : 7

### SW1 : Noise Gate Select

ON時は電話信号がノイズゲート信号条件より低いレベルの時にゲート動作を行います。  
(リダクション・レベルは34dBです)

\* ノイズゲート信号条件の変更はできません。

### SW2 : Ducking Enable

ON時は受信信号のレベルと本機のInput信号が同等のレベルの時に  
受信信号を自動的に18dBレベル下げます。

(MIC Input使用時に有効な効果を得られます)

### SW3 : Auto Disconnect Enable

ON時は通話相手の電話が切れた時に自動的にLINE CONNECT SWをOFFにします。

\* OFF時は通話相手が電話を切っても回線が繋がった状態を保持します。

### SW4 : Ring Detector (Auto Answer) Enable

ON時は自動着信モードになります。

\* OFF時はLINE CONNECT SW が押されるまで電話は繋がりません。

### SW5 : 未使用

### SW6 : Force Static IP Address

メーカー設定用のため使用不可。

### SW7 : Network Cancellation Enable

ON時は電話回線のエコーキャンセラー機能が働きます。

### SW8 : Country Set on Power Up

本機の国別設定をする時に使用します。

**\* 通常のオペレーティング時は必ずOFFにして下さい。**

**(工場出荷時に日本仕様に設定されています)**



- この製品を安全にお使いいただくために、設置・運用には十分な安全対策を行ってください。
- 商品写真やイラストは、実際の商品と一部異なる場合があります。
- 掲載内容は発行時のもので、予告なく変更されることがあります。変更により発生したいかなる損害に対しても、弊社は責任を負いかねます。
- 記載されている商品名、会社名等は各社の登録商標、または商標です。



ヒビノインターサウンド株式会社

〒105-0022 東京都港区海岸2-7-70 TEL: 03-5419-1560 FAX: 03-5419-1563

E-mail: [info@hibino-intersound.co.jp](mailto:info@hibino-intersound.co.jp) <https://www.hibino-intersound.co.jp/>